

コロサイ人への手紙 第三週: 確立されたしっかりした  
ポー・スターン・ブレイディ  
2024年・2月・18日

”あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。しかし今では、御子はその肉のからだにより、その死をとおして、あなたがたを神と和解させ、あなたがたを聖なる、傷のない、責められるところのない者として、みまえに立たせて下さったのである。ただし、あなたがたは、ゆるぐことがなく、しっかりと信仰にふみとどまり、すでに聞いている福音の望みから移り行くことのないようにすべきである。この福音は、天の下にあるすべての造られたものに対して宣べ伝えられたものであって、それにこのパウロが奉仕しているのである。”

コロサイ人への手紙 1:21-23 口語訳

”あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。”

コロサイ人への手紙 1:21 口語訳

この文を解きほぐして核心に迫ります。解釈の仕方はいくつかありますが、これが正しいと思うので私が選んだ方法です。しかし、聖書は奥深いものであることを知ってください。私たちは祈りを持って読み、イエスに尋ねる必要があります。「あなたは何を言っているのですか？」これを通して私は？これは、神が今日私たち企業に対して言っていることだと私は感じています...しかし、今週この手紙をじっくり読んで、ご自身で読んでみてください。

前のセクションで、先週ダビデが私たちに説明したところによると、パウロはイエスの卓越性、威厳、豊かさを美しく説いています。さて、彼は非常に悪いニュースに移りました。私はこれまでの人生で、目が覚めて「今日は神の敵になりたい」と思ったことは一度もありません。しかし、ポールがここで主張しているのは、かつて私は外側から内側を見ていた時期があったということです。私たちは皆、外側から内側を見ていたのです。どこかに現れたときに、自分が居場所がないと感じたことはありますか？あなたがそこで見つけられることを期待していた仲間との友情から何かあなたがあなたを引き離しているように感じますか？（私たちの家でパーティー...スキースーツを着た3人の男がビールを持って歩いてきた。彼らは元気よく入ってきて、グループで乾杯するためにビールを手を持ったが、すぐに気づいた...他に誰もビールを飲んでいなかった...顔を見合わせて笑いながら言った、「おっと」。パーティーを間違えました。）」

私たちは別れてしまったのです。外から内へ。真の命とパウロの言う「福音の中にある希望」を切望していましたが、それに到達することができませんでした。もし私があなたに、本当に本当に欲しいものがある、たとえば 300 万ドルがある、と言いながらも、あなたとそのお金の間に何か立ちがだかっていると伝えたら、最初の質問は何になるでしょうか？それは何ですか？何が邪魔ですか？それは5フィートの柵でしょうか、それとも飢えたライオンの誇りでしょうか？障害の性質によって、それを克服するためにどれだけ努力できるかが決まります。それはまた、あなたのすべての夢を実現するものに到達するための戦略を決定します。

先週、私たちは、イエスが最高の統治をし、イエスが提供する人生に私たちに招待するために来られたのを見ました...しかし今、私たちは何か私たちがその人生から遠ざけているか、またはその人生から遠ざけていることがわかります(ギリシャ語 = 「非参加者」)。パウロは有益に語ります。障害は何ですか:

かつてあなたは、邪悪な行いのせいで神から疎外され、心の中では敵対していました。

私たちは文化、教育、家柄など、神から遠ざけている多くのことのせいにすることができます。しかし、実際に私たちと神との間にこの孤独な荒野の空間を作り出しているのは、私たち自身の心です。家の中から電話がかかってくる！私たちの心は、自分たちは敵である、神に愛されていない、あるいは、何らかの理由で神に見返りを与えることができない、と思い込んでいます。何がこれを生み出すのでしょうか？私には、ポールが、私たち自身の行動が私たちに対して記録を作り、それが私たちによって保持されていると言っているように見えます。これらはすべて、私が神の愛から失格であると感じる方法です。これらは、私が神のものになるのにふさわしくないことを私が知る方法です（私たちが価値がないと考えると、私たちの敵は喜んで私たちに対して同意します）。私たちは職場の休憩室に入った理由やコストコを出るときに車を駐車した場所を忘れてしまうかもしれませんが、私たちは自分が満たされていない理由や方法を覚えている驚くべき才能を持っています。

ダラス・ウィラードによる弟子としての定義。人間の状態を構成する6つの要素。

想い  
気持ち (感情)  
決断  
関係のコンテキスト  
肉体  
魂

これらの事柄をイエスという人物と目的に沿って方向づけると、私たちはイエスのようになり、したがって繁栄し始めます。それらはすべて無数の方法で相互に接続されていますが、特に最初の3つは私たちの体内のエコシステムのようなものです。私たちの感情は私たちが考えていることへの反応であり、私たちの決定はそれらの両方から生まれます。

あなたの脳は、相互に接続された経路を移動する信じられないほどの思考のネットワークであり、感情を生み出し、意思決定や行動を形成します。私たちは1日に12,000 ~ 75,000回考え、毎日35,000件以上の意思決定を行っています。これらの数字から、あなたの人生全体の流出があなたの思考によってどのように導かれているかがわかりますか？

聖書が心について語る時、それは実際にはこの思考、感情、決断の中心について語っていることがよくあります。通常、ここはイエスという人物や目的との関わりが始まる場所であり、最も簡単に止められる場所でもあります。

私の考えを放っておいても、私を平和や生命、健康や全体性へと自然に導くことはできません。彼らは極めて自然に、最悪のシナリオ、恐怖、不安、プライド、操作、罪へと向かっていくでしょう。それが人間の条件なのです。しかし、イエスは人間の状態を恐れておられません。実際、イエスは私たちの人間性を引き受けるために来られました。人間の脳と人間の感情を持って生きているので、本当に騒がしく恐ろしい世界で私たちの状況の中で生きることがどのようなものかを知っています。

パウロはローマの教会にもこのことについて手紙を書きました - ここでは人類一般について話しています:

”なぜなら、彼らは神を知っていながら、神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからである。彼らは自ら知者と称しながら、愚かになり、不朽の神の栄光を変えて、朽ちる人間や鳥や獣や這うものの像に似せたのである。”

ローマ人への手紙 1:21-23 口語訳

彼らは彼のことを知っていましたが、彼を称賛しませんでした。彼らは感銘を受けませんでした。彼らは、自分たちの考えが無駄(ギリシャ語で空虚、愚か、偶像崇拜)だったため、彼の本当の姿を見ていなかったが、その後、彼は彼らの理解と心を覆う闇について説明しました。これは私たちが現実や神の臨在から引き離す内なる闇と内なる虚しさです。そして、神の臨在が存在しないとき、私たちは他の小さな神を創造し、それらを実際よりも大きな何かとして心の中で作り上げます。私たちのアイドルは今日とは異なりますが、同じように本物です。私たちは不滅の神の栄光を、仕事やボーイフレンド、完済した住宅ローンなど、一時的な幸せはあっても永続的な満足感をもたらすことのできないもののように見せかけたイメージと交換します。私たちの心は、あらゆる種類の価値のない神、つまり私たちのすべての希望や夢の重みをすべて保持することは不可能な神のための神殿になりがちです。これらの小さな神々は、私たちが友人であるイエスから引き離します。神の中にある希望から切り離されてしまうのです。

答えはなんですか？

私たちのテキストはこれを教えてくれます:

かつてあなたは、邪悪な行いのせいで神から疎外され、心の中では敵対していました。しかし今、神はキリストの肉体によって死を通してあなたを和解させ、あなたを神の目に聖なる者として、汚れのない、非難のない者として示してくださったのです...

一度は疎遠になり、別居していましたが、今は和解しています。和解とは、関係の回復、調和のとれた友情を意味します...私たちの間の距離は何によって埋められたのでしょうか?キリストご自身の体によって。彼の十字架上の死。聖所でベールが引き裂かれたと言われる十字架上の瞬間を覚えていますか?ごく一部の人が利用できるその空間が、すべての人に開かれました。イエスの死は私たち全員をイエスの人生に迎え入れました...それは私たちにあらゆる面でイエスと和解する資格を与えましたが、特に、私たちがしばしばイエスの善良さに敵対させたり、イエスの愛を疑わせようとしたりする心の空間においてです。

私たちは神を知り、イエスを信じていても、私たちの世界や人生における神の力の現実から自分の考えを遠ざけて生きることができます。2週間前、私は平和について勉強していて、教えることに興奮していたと言いましたが、オフィスで落胆と憂鬱の暗い雲が私の心を覆っているのを感じました。私の思考は突然暗くなりました。私たちは皆それを経験しています。私たちは天国に行くという意識の中で存在できますが、心の中では常に地上の地獄を経験しています。それは神の民に対する神のご意志ではありません。それは私たちに対するイエスのやり方ではありません。イエスは罪と死を征服し、ご自分なしでは暗い心に光の王国をもたらすために来られました。私たちの思考がどれほど制御不能になるかを私は知っています。猫の群れのように。しかし、彼らは本当に制御不能なのでしょうか？

(少しの間、自分の呼吸に注意を向けてください。息がどのように肺に入ってきて肺を満たし、入ってきたときと同じように肺から出ていくのかわかりだけを考えてください。息を吸って...吐いてください。自分の呼吸に注意を向けた瞬間...呼吸をコントロールし始めました。あなたは以前から呼吸していましたが、それはあなたの心が関与することなく起こっていました。思いも同じです。もう一度、パウロ...今度はコリントの教会に話しています:

”神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、“

コリント人への第二の手紙 10:5 口語訳

自分には価値がない、神の愛から遠く離れている、疎外されていると考えが浮かぶたびに、私たちはそれらをこの真実に立ち返らせることを選ぶことができます。つまり、イエスは私に対する大きな愛のゆえに十字架で死なれたということです。私は彼の愛の中で安全です。私は彼の愛の中で安全です。私たちが自分自身の考えの運転席に座ると、暗雲が立ち込めたときに私たちを神の愛へと導き続ける新しい自動的なプロセスを構築し始めることができます。イエスが十字架上で私のために平和を作ってくださったので、私は自分が聖であり、傷がなく、非難されていないことを知ることができました。これをすると、あなたが先週、先月、あるいは6年前に犯した間違いなど、何か特定のことがあなたを非難するなら、あなたに対する非難から解放されるためにイエスが支払ってくださった代価について、少し時間をとってイエスに感謝してください。あなたとあなたを愛する神との距離が縮まるこの瞬間に、神はあなたの戦いのために知恵をささやいてくれるかもしれません...もししたらあなたは誰かに償いをしたり、許しを求めたり、雲を晴らしてイエスに会えるよう手助けしてくれる具体的な何かが必要かもしれません。かすんで遠くにある神の存在ではなく、もっとはっきりと近くにある愛しい神の存在を感じてください。

私たちの思考、感情、決断におけるこのプロセスは、本文の最後の部分でパウロが言っていることの一部です:

”ただし、あなたがたは、ゆるぐことがなく、しっかりと信仰にふみとどまり、すでに聞いている福音の望みから移り行くことのないようにすべきである。この福音は、天の下にあるすべての造られたものに対して宣べ伝えられたものであって、それにこのパウロが奉仕しているのである。”

コロサイ人への手紙 1:23 口語訳

私は聖書の「もし」という言葉が好きではありません。こんなに小さな言葉に、大きな意味が込められているのです。そして、私はこの言葉を間違えるのが大嫌いです。私は人生の最初の30年間、あるいはそれ以上、間違っていました。私は神は「もし私が\_\_\_\_\_すれば、神は私を愛してくれるだろう」と思っていました。空白を埋めてください: 十分の一を納める、正しい教会に通う、1日3章読むなど何でも...そうすれば、彼は私の子供たちを守り、私に昇進を与え、新しい車を買うのを手伝ってくれるでしょう。繁栄の福音は自動販売機の神を中心に構築されています。私が賽銭皿に20ドルを入れると、彼は200ドルを返してくれました。私なら、彼は。それはこの聖句ではありません。ここでのパウロの心はそうではありません。しかし...重要なifがたくさんあり、それは確かに大きな意味を持っています。

この場合、私たちはイエスの十字架上の死の美しい贈り物と、それが私たちにもたらした恩恵について話してきました。これらの特典をあなたから奪ったり、獲得したりすることはできません。これらの特典に関わる唯一の「if」は、「心を信じて口で告白すれば...」、それだけです。十字架の贖いの業への入り口は非常に低いものです。そして、あなたに対する神の愛の贈り物には、まったく入り口がありません。神があなたを胎内で形成する前から、神はあなたを愛していました。すばらしい！では、ここでの「if」は何に当てはまるのでしょうか？

イエスはあなたを救い、あなたとあなたの無価値さ、そしてあなたを非難し続ける思考との間の距離を縮めてくださいました。神は、あなたが無価値、神聖ではない、愛されていないと感じる空間に足を踏み入れ、あなたが非難のない、神聖で、非難のない内なる世界を創造できるよう助けてくださいました。神はあなたに神のやり方を考え、神が約束する自由の中で生きる恵みを与えるために現れてくださいました。そして、これに付随するのは...あなたが信仰を堅固に保ち、福音に示された希望から決して動かない場合です。

私たちはどこで信仰を続けるべきでしょうか？私たちはどこを掘り下げて希望の錨に固執するのでしょうか？私たちの考え、感情、決断。私たちが神とその善良さに自分の考えを集中させ、健全な感情と命を与える決断を生み出す豊かな思考を育む働きに神の力をもたらしてくださいよう聖霊に願うとき、神が私たちを危機から救ってくださいという現実が実現します。闇の支配が舞台の中心になり始める。私たちは救い出された考えを考え、安い席ではなく、私たちの世界でイエスの働きに最も近い、救い出されて救い出された人生を送り始めます。これを行うと、私たちは確立され、しっかりと根を下ろしたままになります。私たちは創造主と協力して豊かな庭園を育てています。

いくつかの方法: 庭の門を守る。あなたの心は何で満たされていますか？略奪者はどこにでもいます。(ストーリー) 土壌を養う: 礼拝、神の言葉、信仰と希望で満たしてくれる人々。(ストーリー - 詩篇 91 篇、ある日、イエスがそれを私に与えてくださいました...その時、主への私の信仰は試され、不安定になりました...それから、二日後、人々がそれを一言一句私に与えてくれた祈りです。一言一句。六日間、その言葉は「御言葉と私のコミュニティが、福音に示された希望への私にとっての錨でした。私はそれらにしがみつきました。それらを繰り返しました。私はそれらの中で休んだのです。それは戦いであったことは疑いありませんが、私には資源や資源がなかったわけではありません」同志の皆さん。これが福音です。この世では私たちは困難に見舞われますが、イエスは世を克服されました...私たちは神の愛の中で安全です。私たちは救われた者です。私たちはその中で生き、恥と神の栄光との距離を縮めることができます。「私たちはしっかりと根を張り、定着し続けることができます。悲しく罪深い世界で、非難されることなく生きていくことができます。荒れ地に放り出されたように感じる時でも、私たちは神と協力してそこに美しい庭園を育てることができます。実を結び、壁を越えて私たちの荒野の世界に手を差し伸べるでしょう。

返事